

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年4月16日(2024.4.16)

【公開番号】特開2023-164600(P2023-164600A)
 【公開日】令和5年11月10日(2023.11.10)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-212
 【出願番号】特願2023-151108(P2023-151108)
 【国際特許分類】
 A 6 3 F 7/02(2006.01)
 【F I】
 A 6 3 F 7/02 3 2 0

10

【手続補正書】
 【提出日】令和6年4月8日(2024.4.8)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
 【請求項1】

特別遊技の進行を制御可能な主制御手段と、前記主制御手段からの信号に応じた演出を制御可能な演出制御手段を備えた遊技機において、
所定の異常を検出するための検出手段を備え、
 前記演出制御手段は、
遊技機への電力供給の開始後に表示手段に複数の図柄を表示可能であり、
取得条件の成立に基づき取得した判定情報の判定結果に応じて、前記複数の図柄の変動演出を実行可能であり、
保留記憶として記憶される前記変動演出が未実行の前記判定情報の各々に対応する保留情報を表示領域に表示可能であり、
遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段と前記検出手段とが非接続状態である場合、所定の報知を実行可能であり、
遊技機への電力供給の開始後に前記主制御手段と前記演出制御手段とを結ぶ所定の信号線が非接続状態となった場合、所定の報知を実行せず、
遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段と前記検出手段とが非接続状態であることに基づく前記所定の報知の実行中であっても、前記表示手段に前記複数の図柄が表示され、
所定数よりも3つ多い特定数の前記保留情報の表示中に、前記保留記憶が前記所定数となる前記変動演出を開始する場合、前記特定数よりも1つ少ない数の前記保留情報を表示することなく前記所定数の前記保留情報を表示することが可能であることを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0007
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0007】

上記課題を解決するため、本発明によれば、特別遊技(大当たり遊技)の進行を制御可能な主制御手段(主制御基板110)と、前記主制御手段からの信号(コマンド等)に応

50

じた演出を制御可能な演出制御手段（演出制御基板 130）を備えた遊技機において、所定の異常（磁気エラー、電波エラー等）を検出するための検出手段（磁気検出センサ、電波検出センサ等）を備え、前記演出制御手段は、遊技機への電力供給の開始後に表示手段（画像表示装置）に複数の図柄（演出図柄）を表示可能であり、取得条件の成立（始動口への遊技球の入賞）に基づき取得した判定情報（特図判定情報）の判定結果に応じて、前記複数の図柄の変動演出を実行可能であり、保留記憶として記憶される前記変動演出が未実行の前記判定情報の各々に対応する保留情報（保留アイコン）を表示領域（保留アイコン表示領域）に表示可能であり、遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段と前記検出手段とが非接続状態（コネクタ抜け、コネクタの半差し、断線など）である場合、所定の報知（エラー報知）を実行可能であり、遊技機への電力供給の開始後に前記主制御手段と前記演出制御手段とを結ぶ所定の信号線（コマンド線）が非接続状態となった場合、所定の報知（エラー報知）を実行せず、遊技機への電力供給が開始されたときに前記主制御手段と前記検出手段とが非接続状態であることに基づく前記所定の報知の実行中であっても、前記表示手段に前記複数の図柄が表示され、所定数（例えば1つ）よりも3つ多い特定数（例えば4つ）の前記保留情報の表示中に、前記保留記憶が前記所定数となる前記変動演出を開始する場合、前記特定数よりも1つ少ない数（例えば3つ）の前記保留情報を表示することなく前記所定数の前記保留情報を表示することが可能であることを特徴とする。

10

20

30

40

50